

項目	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	北陸地整		新潟県		新潟県地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局										
					実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期							
1. ハード対策の主な取組																																							
■洪水を河川内で安全に流す対策																																							
・河道掘削 ・浸食対策 ・築堤	W, X	引き 継続 整備	洪水を安全に流すための危機管理型のハード対策の推進	・洪水を安全に流すための危機管理型のハード対策の推進(河川掘削を実施。)	引き 継続 整備	・洪水を安全に流すためのハード対策を推進する。(五十嵐川、中ノロ川、加茂川、下条川等)	引き 継続 整備																																
				・関原分水路(H24~H29完) ・山島新田地区(H27~) ・栗林・大島地区(H28~)	・引き 継続 整備	・中ノロ川(河道掘削、築堤)、加茂川(築堤)、下条川(築堤)の工事実施中。	・引き 継続 整備																																
・信濃川下流及び中ノロ川の治水安全度バランスを考慮した蒲原大堰・中ノロ川水門の施設操作運用の検討、調整	Y	順次 実施	施設操作運用の検討、調整	・蒲原大堰・中ノロ川水門の施設操作運用の検討、調整	順次 実施	・蒲原大堰・中ノロ川水門の施設操作運用の検討、調整	順次 実施																																
				・蒲原大堰・中ノロ川水門の施設操作運用の検討(H28~)	・引き 継続 検討、 調整を 実施	・検討中。	・引き 継続 検討																																
・ダムの上上げ、遊水地の整備	W	引き 継続 整備	遊水地の整備、ダムの上上げ		引き 継続 整備	・五十嵐川遊水地の建設 ・空堀ダムの嵩上げ	引き 継続 整備																																
				・完了	・完了																																		
■流出抑制対策																																							
■内水対策																																							
・排水機能の配備	T	順次 整備	排水ポンプ場の整備等の、排水ポンプ車の整備	・排水ポンプ車の更新・増強	順次 整備 (H29~ H32年 度まで)	・布施谷川・新川排水路下流部の内水対策(ハード・ソフト) ・新通川・島田川の河道拡幅	引き 継続 整備																																
				・排水ポンプ車や照明車等の災害対策車輜・機器について、平常時から定期的な保守点検を行い、災害発生時の出動体制を確保。	・引き 継続 実施	・関係機関と連携し対策(ハード・ソフト)について検討中。 ・新通川・島田川(河道拡幅)の工事実施中。	・引き 継続 実施																																
・調整池の整備 ・田んぼダムの活用	T	順次 整備	調整池等の整備		順次 整備	・調整池等の整備 ・地下貯留施設(雨水貯留管)による浸水対策	順次 整備																																
				・調整池等の整備 ・地下貯留施設(雨水貯留管)による浸水対策。	・引き 継続 整備	・開発許可申請者と適正な協議を実施。	・順次 整備																																
・田んぼダムの活用	T	順次 整備	田んぼダムの整備・活用	・地域の自発的な共同活動として行う流出抑制の「田んぼダム」の取組について、国、市町村と連携し支援を行っている。	順次 整備	・田んぼダムの活用	順次 整備																																
				・国、市町村と連携し、田んぼダムの普及啓発に取り組んでいる。	・引き 継続 実施	・田んぼダムの活用。	・引き 継続 整備																																
■危機管理型ハード対策																																							
・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	Z	H28 年度 から 順次 整備	堤防天端の保護	・堤防天端の保護(アスファルト舗装等)	H28年 度から 順次 整備	・堤防天端の保護	H28年 度 以降 検討																																
				・加茂新田地区(H28年度完) ・石上地区(H28年度完) ・大川津地区(H28年度完)	引き 継続 実施	・要対策箇所について検討中(H28~)(河川整備課)。 ・五部一川において堤防天端舗装を実施(五泉市青柳地区(新津))。 ・地域活性化推進事業において、刈谷田川で堤防天端舗装(利用目的)を実施(長岡)。 ・地域活性化推進事業において、五十嵐川で堤防天端舗装(利用目的)を実施(三条)。	・引き 継続 検討、 調整を 実施 ・H28実 施済、 引き 継続 実施																																
・堤防裏法尻の補強	Z	H28 年度 から 順次 整備	堤防裏法尻の補強	・堤防裏法尻補強	H28年 度から 順次 整備																																		
				・小須戸地区(H28年度完)	引き 継続 実施																																		

項目	減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局				
	カテゴリ	課題の対応	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期			
■避難行動、水防活動、排水活動に関する基礎等の整備	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	M.P.Q	水防資機材の確認・整備	・水防団と自治体との水防資機材の確認を実施	引き続き実施	・水防資機材の配備状況の確認・整備	引き続き実施	・河川管理者や水防団と連携し水防資機材の配備状況の確認や整備を行う。	H28年度から検討	・水防資機材の配備状況の確認・整備	引き続き実施	・水防資材の十分な確保	引き続き実施	・自治会に対する水防資機材の十分な確保	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り必要資機材の配備の検討を行う。	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を調査・検討する。	H28年度から検討	・河川管理者と連携を図り、配備状況の確認や整備を行う。	H28年度から検討											
				・【H30.5.22・23】各河内視察時に水防団・自治体と一緒に水防資材を確認。毎年出水期前に実施。	・H30年度実施済、引き続き実施	・水防資機材の配備状況の確認を実施(各地域)。 ・水防倉庫の修繕整備(棚を設置し収納力及び使いやすさを向上)	引き続き実施	・【H29.5~】各区において水防資機材の配備状況を確認し、不足数を補充するなど整備を行っている。 ・【H29.3】堤防が局所的に低い小須戸橋を岸堤防において、大型土のう更新作業を行った。(3年に1回、次回は平成32年度)	引き続き実施	・H30年度の出水期前に実施。	引き続き実施	・水防資材の十分な確保。	引き続き実施	・予算の範囲内で引き続き実施。	引き続き実施	・必要に応じ、更新・配置を行っている。	引き続き実施	・調査・検討を継続。	引き続き実施	・出水期前に確認を行い、補充している。 ・地元町内会長からの申し出により、不足分を補充している。	引き続き実施											
	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置を行う	J.L	H28年度から順次整備	新技術を活用した水防資機材の検討・配備	・新技術(水のう工法等)を活用した水防活動	H28年度から検討	・新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する。	H28年度以降検討																								
					・水のう工法を実際の訓練等で実施していく。 ・【H30.5】信濃川下流水防演習で水のう工法、鋼製枠蓋工法訓練実施	引き続き実施	・耐候性土のうの整備(三条、長岡)。	順次整備	・情報を収集し、必要性を検討予定。	引き続き検討																						
	③庁舎等の耐水対策	S	H28年度から順次検討	新技術を活用した水防資機材の検討・配備	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次整備	・水位計・量水標の設置 ・洪水危険箇所における河川カメラ設置	順次整備																								
・危険箇所に追加設置。(H28簡易水位計6台、CCTVカメラ4台) ・H30危機管理型水位計9台追加設置 ・今後も状況に応じて検討する。					引き続き実施	・刈谷田川(大沼新田川において、水位計を設置 ・洪水時に特化した低コストな危機管理型水位計を、信濃川下流域の19箇所に設置(H30)	H28年度以降検討	・危機管理型水位計の設置 ・H30年度完了予定																								
④災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有(H30追加)	S	順次検討	新技術を活用した水防資機材の検討・配備	・県管理河川の浸水想定区域を踏まえて検討	H29年度から検討	・庁舎等の耐水化の検討	H28年度以降検討																									
				・五十嵐川の浸水想定区域に基づき、三条出張所庁舎の耐水対策を検討中。 ・その他、県管理河川の浸水想定区域を踏まえて引き続き検討。	引き続き検討	・庁舎については浸水時の機能確保の検討を行い、必要な庁舎で電力供給の安全対策を実施済みである。	引き続き検討	・新たな浸水想定区域に対応した対策の必要性の調査等を含め検討	今後検討	・新たな浸水想定区域に対応した対策の必要性の調査等を含め検討。	今後検討	・浸水想定状況等を参考に、今後の対応について検討	H28年度から検討	・公表された刈谷田川の浸水想定区域と併せ検討。	引き続き実施	・庁舎の耐水化について、調査・検討する。	H28年度から検討	・庁舎の耐水化について、調査・検討する。	H28年度から検討	・施設整備費用の積立を開始。	引き続き実施	・公表された浸水想定区域に対応した必要性の調査を含めて検討	引き続き実施									
⑤排水機場の耐水化	T.U	H28年度から順次検討	新技術を活用した水防資機材の検討・配備	・水害に強い信濃川下流域づくり協議会等において情報共有を実施。	順次実施	・水害に強い信濃川下流域づくり協議会等において情報共有を実施。	順次実施																									
				・協議会等において災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有	引き続き実施	・協議会等において災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有	引き続き実施	・情報共有が必要となる対象施設及び情報等を検討	H30年度以降検討	・今後の対応について検討(該当施設の調査等)	今後検討	・排水機場の耐水化について、検討する。	H28年度以降検討	・施設状況等に応じて、今後の対応について検討	H28年度から検討	・関係機関と協議を重ね検討。	順次検討	・排水機場の耐水化について調査・検討する。	H28年度から検討	・今後、事業化に併せて、内水に係る超過降雨による洪水時に備えた排水機場の耐水化を検討(ポンプ場の設計基準改定においても、耐水化も含めて検討中)	引き続き実施	・「検討基準」(ポンプ場)が本年7月に改訂され、機場の耐水化も盛り込まれており、今後事業化する場合、ポンプ場の設計・検討においては、耐水化も考慮できる基準となった。	H29年度以降検討									

Main table with columns for project categories (減災のための取組項目) and various municipalities (北陸地整, 新潟県, 新潟地方気象台, 新潟市, 長岡市, 三条市, 加茂市, 見附市, 燕市, 五泉市, 弥彦村, 田上町, 農政局). Rows include disaster response plans, evacuation notices, and flood risk assessments.

■情報伝達、避難計画等に関する取組

Table detailing communication and evacuation planning activities. Columns include project categories (e.g., ⑤立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討) and implementation details across various municipalities.

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:取組方針策定時の実施内容と時期(今後の経過により変更となる場合がございます。) 下段:平成30年3月31日時点の取組状況(うち、青字は平成30年4月1日以降の取組内容【平成30年10月31日時点】)
 ※「課題の対応(A~Z)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「備忘川下流域の減災に係る取組方針」参照)に対応したものを指す。

項目	事項	減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		新潟県		新潟地方気象台		新潟市		長岡市		三条市		加茂市		見附市		燕市		五泉市		弥彦村		田上町		農政局			
		カテゴリ	課題の対応	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
				自主防災組織の育成・強化																											
		⑥参加市・町・村による広域避難計画の策定及び支援	D.E	H28年度から順次実施 計画規模洪水・想定最大規模洪水に対する広域避難計画の検討・策定・支援	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援する。 H28年度から順次実施 ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・市町村間の調整や運営上の課題への支援	H28年度から順次実施	・引き続き実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 H28年度から順次実施	H28年度から順次実施	・広域避難の現実性について検討する。 H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H29年度以降検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定 ・想定最大規模の降雨による浸水を考慮した広域避難計画の検討	・引き続き実施 ・検討中 (県管河川の想定区域図は一部未公表)	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定 ・広域避難の現実性について検討	H28年度から検討	・北陸地整、県、関係市町と連携し、計画規模洪水に対する広域避難計画を検討・策定する。 ・北陸地整、県、関係市町と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難計画を検討・策定する。 ・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定	H28年度から検討	・近隣市町村相互援助協定 ・遠隔地災害時相互応援協定		
		⑦広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	D.E.F	H28年度から順次実施 洪水ハザードマップの改良・周知	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進する。 H28年度から実施	H28年度以降	・引き続き実施	・新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップの改良と、出前講座などを活用した周知・広報を実施する。 新潟県からの情報提供により周知	H29年度以降実施	・新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降実施	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	・新潟県からの情報提供後から実施	・新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップの作成 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から検討	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度から検討	・避難所の災害別区分化、災害別表示版の設置の検討 ・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度から検討	・ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知する。 ・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度以降	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	
		⑧水位周知河川の見直し及び追加指定の検討【H30追加】	B	H30年度から検討 水位周知河川の見直し及び追加指定の検討	・水位周知河川の見直し及び追加指定の検討 H29年度以降	H29年度以降	・引き続き実施	・新たな洪水ハザードマップを作成し、市HPに掲載し市報等で周知を行った。 H30実施、引き続き周知	H30実施、引き続き周知	・新たな洪水ハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	・引き続き実施	・新たなハザードマップの策定・周知 ・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	・検討中(県管河川の想定区域図は一部未公表)	・現在作成中。	H30年度完了予定	・想定最大規模降雨での刈谷田川の浸水想定区域をともに検討。	・引き続き実施	・避難所標識は完成。 ・H29年度ハザードマップ完成、平成30年4月に全戸配布、出前講座等で説明。	・引き続き実施	・新しいハザードマップを作成し市内へ全戸配布、HPへ掲載し周知を行った。	H29年度完了	・H29年3月完成。(広報誌配布に併せ)4/25日に全戸配布、広報紙面で「まちなみ」に併せ周知を実施。出水期に併せ実施予定。	H29年度完了	・引き続き実施	・ハザードマップ作成に向けた調査・研究を実施。 ・ハザードマップは平成31年度に作成予定。	・引き続き実施	・引き続き実施	・引き続き実施			
		⑨水位予測の検討及び精度の向上	B.M	H28年度から検討 水位予測の検討及び精度の向上	・現状予測期間(〜3時間)・更に数時間(4〜6時間程度)先も含め水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。 H28年度から実施	H28年度以降	・引き続き実施	・指定水位観測所地点における横断測量を実施。(H28年度)	H28年度以降	・引き続き実施																					
		⑩気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	J	H29年度 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象」になる可能性の提供 ・メッシュ情報の充実化 H29年度から実施	H29年度以降	・引き続き実施	・[H29.5.17]「危険度の色分け表示」・「警報級の現象」正式運用を開始	・引き続き実施																						
		⑪流域雨量指数(洪水警報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を【H30追加】	B	引き続き実施 流域雨量指数(洪水警報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を【H30追加】	・流域雨量指数(洪水警報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を【H30追加】 H29年度以降	H29年度以降	・引き続き実施	・流域雨量指数(洪水警報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を【H30追加】 ・協議会等で危険度分布の事例解説を実施し、普及啓発を図る。 引き続き、県、気象庁、自治体と連携し、指数勉強会での普及啓発を実施。 H29年度以降	H29年度以降	・引き続き実施																					

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:取組方針策定時の実施内容と時期(全体の概要により変更となる場合がおります。) 下段:平成30年3月31日時点の取組状況(うち、青字は平成30年4月1日以降の取組内容【平成30年10月31日時点】) ※「課題の対応(A~Z)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組ごとの課題(詳細は「信濃川下流域の減災に係る取組方針」参照)に対応したものを指す。

Table with columns for disaster types (減災のための取組項目, 北陸地盤, 新潟県, 新潟地方気象台, 新潟市, 長岡市, 三条市, 加茂市, 見附市, 燕市, 五泉市, 弥彦村, 田上町, 農政局) and rows for specific measures (e.g., ①関係機関が連携した訓練の実施, ②自治会や地域住民が参加した水害リスクの高い箇所...). Each cell contains details on implementation content, timing, and status.

Table with columns for project categories (減災のための取組項目), implementation areas (北陸地整, 新潟県, etc.), and specific activities (実施内容, 時期). The table is organized into rows for different project types (e.g., ③, ④, ⑤, ⑥) and implementation methods (A, D.F.I, H, K).

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:取組方針策定時の実施内容と時期(今後の種別により変更となる場合がございます。) 下段:平成30年3月31日時点の取組状況(うち、青字は平成30年4月1日以降の取組内容【平成30年10月31日時点】)
※「課題の対応(A~Z)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「信濃川下流域の減災に係る取組方針」参照)に対応したものを指す。

Table with columns for disaster reduction measures, implementation content, and timing across various municipalities like Niigata City, Toyama City, and Nagano City. The table is organized into sections for different types of activities such as disaster drills, training, and information dissemination.

